

北部太平洋大中型まき網地域漁業復興プロジェクト（波崎地区）②③

事業実施者：はさき漁業協同組合

使用船舶名：第七十八石田丸船団（網船199トン）

支援期間：平成24年2月12日～平成27年2月11日

（大中型まき網漁業）

（取組の内容）

- 操業形態の合理化：網船の大型化（80トン→199トン）、船団規模の縮減（1船団4隻体制→3隻体制）
- 省人・省エネ・省コスト化：乗組員数（49名→42名）、燃油使用量（1,735kl→1,404kl）、修繕費（81百万円→66百万円）
- 労働環境の改善：網船の大型化により十分な乾舷と復原性の確保、船員室の完全個室化
- 高度衛生化：EUのHACCP認定された漁船の活用
- 魚価の適正化：脂肪分測定器の導入



199トン型網船



EUHACCP登録運搬船



脂肪分測定器

※本プロジェクトは、自己負担等により事業実施

（事業の成果）

- 計画に比し水揚量は約12%減少（18,700トン→16,471トン）したが、水揚高（1,343百万円）は計画（1,250百万円）を93百万円上回った。
- 船団規模の縮減及び新網船の省メンテナンス対応等により、**生産コスト（修繕費含む）を約5%削減（628百万円→595百万円）した。**
- 乗組員数は計画どおり、**年間燃油使用量（計画1,404kl→1,393kl）及び修繕費（計画66百万円→51百万円）は計画を上回る削減。**
- **償却前利益は、529百万円（3ヶ年平均）を確保できた。**